

住民間で被災情報を共有

「アンフライト」導入マンション1000棟突破

集合住宅向けインターネット接続サービス「アンフライト」を導入したマンション1000棟突破を達成した。アンフライトは、地震発生時に住民間で被災状況を共有し、被災状況を把握し、必要な支援を受けることができる。アンフライトは、熊本の「アンフライト」が中心となり、全国各地で導入が進んでいる。アンフライトは、熊本の「アンフライト」が中心となり、全国各地で導入が進んでいる。アンフライトは、熊本の「アンフライト」が中心となり、全国各地で導入が進んでいる。

リビングシヨンカレッジ開校

インテリア空間設計業界の人材育成に貢献

インテリア空間設計業界の人材育成に貢献。リビングシヨンカレッジは、インテリア空間設計業界の人材育成に貢献。リビングシヨンカレッジは、インテリア空間設計業界の人材育成に貢献。リビングシヨンカレッジは、インテリア空間設計業界の人材育成に貢献。



アンフライト導入マンションの一例

住民間で被災情報を共有

アンフライト 導入マンション1000棟突破

集合住宅向けインターネット接続サービスを手掛けるアンフライトは、2月22日、マンション居住者同士が災害時にウェブ上で情報共有できるICサービス『ゆいぽた』の導入棟数が1000棟を超えたと伝えた。地震や豪雨が多発した西日本

エリアのマンション管理会社から問い合わせが増える。2015年3月の提供開始以来、導入数は1019棟5万5108戸(2月時点)に達している。

例えば日中に大地震が起きたとき、外出中の居住者は「マンションの被災状況がわからない」として、アンフライトを通じて被災状況を共有できる。また、被災者が状況を把握し、必要な支援を受けることができる。

アンフライトは、熊本の「アンフライト」が中心となり、全国各地で導入が進んでいる。アンフライトは、熊本の「アンフライト」が中心となり、全国各地で導入が進んでいる。

適正な借入額を算出 安全な不動産投資へ寄与

不動産投資のリスクを軽減し、安全な不動産投資を実現。適正な借入額を算出することで、安全な不動産投資を実現。適正な借入額を算出することで、安全な不動産投資を実現。

福岡に拠点開設

スぺーシーサポート体制拡充

福岡に拠点開設。スぺーシーサポート体制拡充。福岡に拠点開設。スぺーシーサポート体制拡充。福岡に拠点開設。スぺーシーサポート体制拡充。

家主と地主

賃貸不動産オーナー向け経営情報誌 最新号

3月号 vol.102

3D映像で空間演出

3D映像で空間演出。最新の3D映像技術を用いて、空間演出を実現。最新の3D映像技術を用いて、空間演出を実現。